

【最新版】

まゆひつぎょへごめんとびの時間

資料①の場面

給食の準備が始まりました。手を洗って、ぼくが教室に入ると、もう列ができていました。急いで列に並ぼうとしたとき、ぼくのひじがゆりちゃんの背中「びびっ」ってこぼりました。

給食当番のゆりちゃんは、持っていた牛乳瓶を床に落とってこぼりました。

ひろくんが大きな声で

「わあ、大変だ。牛乳の海だっ。」

と叫び、みんなが集まってきました。ゆりちゃんは、今にも泣き出しそうな顔をこぼらせた。

ぼくは、困ってしまいました。

ぼくは、困ってしまいました。

「泣いちゃったの、さゆりちゃんを助けてよ。」

みんながさゆりちゃんの方を見ました。

「さゆりちゃん、ゆりちゃんを助けてよ。」

おぼろげに、さゆりちゃんを助けてよ。さゆりちゃん、ひろくんと

「ぼくを助けてよ。」

と、真っ赤な顔で叫びました。

(さゆりちゃん…)

ぼくは、困ってしまいました。

資料②の場面

ぼくは、思い切って叫びました。

「さゆりちゃんを助けてよ。ゆりちゃんを助けてよ。ぼくを助けてよ。」

みんなの助けを借りて、ぼくはゆりちゃんを助けてよ。